

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
25	市川 真未（3）	<p>1. スタートアップ企業支援の現状と今後について</p> <p>昨年、スタートアップ企業創出に向けたスタートアップ育成5か年計画を国が策定し、地方自治体でも地域の特色に合わせた創業支援が求められている。そこで、以下質問する。</p> <p>(1) 本市の創業支援の実績と課題、今後の進め方はどのように考えているか。</p> <p>(2) 総務省が展開している事業の企画・準備から実施・フォローアップまでを支援するローカルスタートアップ支援制度の活用は検討しているか。</p> <p>(3) 富士市テレワーク実践会議室は、スタートアップ企業に利用されているか。</p> <p>(4) 起業家が初期投資を抑え、他企業と交流を進めるためにも、コワーキングスペースの整備は重要と考えるが、民間コワーキングスペースとの連携は十分にされているか。</p> <p>(5) 静岡県がデジタル人材の育成とイノベーション創出のための拠点として開設したSHIP（Shizuoka Innovation Platform）といかに連携を図っているか。</p> <p>2. 救急車の適正利用と医療機関との連携について</p> <p>令和4年の救急出動件数は1万622件と、前年より1140件増えており、年々増加傾向にあるが、緊急性のない救急出動のために緊急性の高い本当に救急車を必要としている人のところへの到着が遅れることが危惧される。救える命を救うため、救急車の緊急度判断を医療従事者で行うことができれば、より素早い対応が見込めるのではないかと思い、以下質問する。</p> <p>(1) 医療機関との現在の連携体制はいかがか。</p> <p>(2) 119番を受信した際、救急車を出動させることについて、医療の専門家の助言を必要と感じたことがあるか。</p> <p>(3) 市内には救急科専門医はどれくらいいるか。</p> <p>(4) 医療機関と消防機関のさらなる連携と救急隊員の知識・技術の向上を図るために救急ワークステーションを設置してはどうか。</p>	市長 及び 担当部長